

平成29年度 庄内自然博物館構想推進協議会 会議概要

日時：平成29年4月20日（木）10：00～11：30

場所：鶴岡市自然学習交流館ほとりあ

… 次第 …

1. 開 会 （進行：東海林環境課長）
2. 協 議
 - （1）協議会役員の選任について
 - （2）設置要綱の改正について
 - （3）平成28年度事業実績について
 - （4）平成28年度収支決算について
 - （5）平成29年度事業計画（案）について
 - （6）平成29年度収支予算（案）について
 - （7）平成29年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制（案）について
 - （8）その他
3. その他
4. 閉 会

◇◇◇ 会議概要（質疑応答） ◇◇◇

2. 協 議

(1) 協議会役員の選任について

事務局より、会長、副会長、監事、顧問に以下の方を提案する。

会 長 大山自治会長 櫻井修治

副会長 西郷自治会長 佐藤健三

尾浦の自然を守る会 会長 太田威

監 事 赤川土地改良区 副理事長 本間松弥

西郷土地改良区 理事長 阿部和夫

顧 問 庄内自然博物館構想推進協議会 前会長 橋本正輝

鶴岡市自然学習交流館ほとりあ 前館長 遠見正圀

…承認…

(2) 設置要綱の改正について

事務局より、設置要綱を改正し、新たに相談役を設置することを提案。

…承認…

会長より、相談役として以下の方を選任する。

相談役 庄内自然博物館（仮称）構想地域推進協議会 元会長 中浜裕

鶴岡市自然学習交流館館長ほとりあ 元館長 植松芳平

…承認…

(3) 平成28年度事業実績について

(4) 平成28年度収支決算について

…質疑なし、承認…

(5) 平成29年度事業計画（案）について

(6) 平成29年度収支予算（案）について

…質疑…

●ラムサール条約締結10周年事業について

○ラムサール条約締結10周年準備委員会の発足について、構想についてはまだできていないのか。

○平成30年に登録10周年を迎えるということで、今年度中に内容を検討し、

市として来年度予算で要求し議決を取ったうえで来年度実施する、という段取りで考えている。それに向けて準備委員会を構成し、内容を検討していく。

内容については何も決まっていないが、そもそもラムサール条約締結10周年ということで、どの程度の広がりを見なさんが考えていらっしゃるか、というところを把握したうえで何をするかを検討したい。予算要求に間に合わせなければならぬのであまりのんきにしていられない状況である。(事務局)

○式典などを行うのであれば、当時の関係者など、ラムサール条約登録当時に韓国に視察に行った方々も含め、呼んでいただきたい。

今更言うわけではないが、ほとりあ開館の際、当時の課長から「明日開館するが招待し忘れていたのでぜひ出席してくれ」と電話をもらった。何十年も苦勞して固めてきた私でも開館式には案内がないものだ、と思っはいた。大不調法したと連絡があったが、色々な事業もあり欠席した。せつかく準備委員会を開いて実施するのであれば、何らかの形にしていなければありがたい。

○ラムサール条約登録に際しては協議会でまとめ、さらに専門委員会で植物、昆虫、鳥などのデータを苦勞してまとめ、登録に動いた。その結果意外に早く登録され、韓国に行ってきた。当時の専門委員や協議会がうまく行った結果であり、10年の節目にこれを評価し、続けていくことが大事だと思う。

●今後の事業について

○今のご指摘は、私も長く関わっているものとして重く聞かないといけませんが、協議会のメンバーはだいたい2～3年ごとに交代するので、過去のやり取りが伝わらないところがある。事務局が注意して引き継いでもらうようにして欲しい。

○運営委員会でその年の事業を企画構想して運営していくわけだが、この協議会の承認を得ないとゴーサインが出ない仕組みになっている。それを考えて今日の資料を見直すと、どれが新規の事業で、どれを整理して中止したかが分かるほうが良い。来年度から、新規事業は太字にする、色を変える、新規と書く、廃止・中止事業は備考欄に書くといった整理をしてもらえると、みなさん質問等もしやすくなるのではと思う。○協議会発足から5、6年目を迎え、事業が目白押しとなって、かなり業務量的に厳しい状況である。スタッフのマンパワーにも限りがあるし、サポーターも忙しい中協力してくれている状況。今年度の運営委員会の中でも事業の統合・整理を考えないといけないと思っている

ので、それを資料にわかりやすく反映できるようにしていきたい。事務局もご協力願いたい。

…承認…

(7) 平成29年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制(案)について

…質疑なし、承認…

3. その他

●上池・下池でのボーリング調査計画について【庄内総合支庁農村計画課：飯野 計画調整主幹】

○県内の農業用ため池は明治以前から作られているものもあり、老朽化や機能の低下がみられる。近年多発する地震など、自然災害による決壊を防ぐため、順次調査事業を実施しているが、今年度下池、上池を実施したいと考えている。

○この事業は国の補助事業を使っており、日程の詳細は決まっていないが、6月に業務委託で発注し、2月頃までかけて事業を行う予定。土質調査は現場にボーリング用機械が入り、時期は9月。調査地点は上池2箇所(深度8mと12m)、下池1箇所(13m)を予定している。

○ひとつのボーリングに5日間、3箇所ですべて16日間を予定しており、野鳥の飛来前に終えたいと考えている。作業中は、散策の邪魔にならない等、周辺の支障がないよう留意する。ご協力をお願いしたい。

○上池・下池は野鳥の糞によって水が汚れ、協議会の中では一度は全て水を落とそうと話し合いをしているが、野鳥の会の方々の意見を取り入れると全て払うのは不可能だと言われている。以前、私が自治会長になった頃、下池の泥を全て掘るとの案になった。当時1億5千万くらいの予算がついたとのことで、臭い対策として枠を4箇所くらい作り、臭いを抜く工法を考えたが、いつの間にか話が消えてしまい、掘ることができなかった。県がなんとかして、水を全て落とさないまでも泥を除去するとはできないものか。攪拌するとある程度浄化されるとも聞くが、協議会や土地改良区などがやるにしてもある程度費用がかかることなので、県や国をお願いするしかないと思う。ご意見をいただけるとありがたい。

○20年近く前の水環境整備事業で、愛鳥館や駐車場のトイレなどの水路の整備を行った経緯がある。その中で浚渫という話もあり、部分的に浚渫して泥

上げし、その経過を見たということがある。当時、野鳥の関係などの他、浚渫の手法についても検討されたが、工法的にも現場に機械が入って行きにくく、船を入れるといった検討を行った記憶がある。野鳥など環境面以外にも、工法方面他の問題があり実施できていない。みなさん色々とお考えがあったかと思う。

○耐震検査を行っていただけるのは非常にありがたい。

○下池の都沢湿地の水路上の水門近くに落差があり、地震の際はそこから崩れて危ないのではと危惧している。車いすが通るときもそこでガタつく。土手の上は簡易舗装で、そのうち悪くなるだろうと思っていた。普通のコンクリートでは鳥や虫に駄目だ、しかし車いすが通れる形に、と何度も協議して今の形になったが、壊れかけている。そこをあわせて県に見てもらいたい。

○一般的に、構造物である水門周りはコンクリートと決められているが、土の部分は圧密で少しずつ低くなるので差ができる。補修については、管理は鶴岡市と思うので、補修計画があるかは確認を。

○耐震設計はやるにはやるが、年々国の基準が厳しくなっていることもあり、耐震の調査をするとほとんどの地点がアウトとなる。ただ、イコール壊れるということではなく、それを元に計画を行い、補修を行うなどの管理のほか、ハザードマップなどソフト面での対応もあると思う。どのくらいの耐震性があるかを確認するのが今回の調査の目的。

●寄付金受納についての報告

【事務局（東海林課長、木村）】

昨年度、ほとりあサポーターであった故人の遺族より鶴岡市に300万円の寄付をいただいたが、その用途について事務局より報告。

事務局にて故人の遺志を汲んだ内容を検討し、(1)軽トラックの購入、(2)木製カーポートの設置、(3)書籍の購入費として鶴岡市の平成29年度予算に計上している。

●山形大学農学部的人事について

【平委員】

昨年、山形大学農学部の●●先生が急逝し一年になる。また●●先生も3月で定年退職された。森林文化都市構想に係る専門分野の先生が亡くなられたり退職されたりしている。

山形大学農学部では、その分野の人事を進めようということで、この4月よ

り 30 代の准教授、助教の先生を 2 名採用した。ひとは森づくり論（樹木の生長や枯死のメカニズムを環境条件との関わりで研究）、もうひとは里山再生論（シカによる昆虫や野生小動物がどのような動きをするのか）を専門にされている。

今後彼らが仕事や鶴岡に慣れた頃、ほとりあや市の関連事業に誘ってみたいと思っている。できるだけ協力していただけるような働きかけをしたい。本人の意向もあるが、里地里山学に雇ってもらうとか、事務局でも山形大学と協力体制を強化してもらいたいと思っている。

…閉会…